

第2回公立病院に関する財政措置のあり方等検討会
—島根県における病院配置の現状と公立病院の経営状況等—

H20.7.28

中川 正久

(全国自治体病院協議会常務理事)

(島根県病院事業管理者)

1 病院配置の状況 … 資料1～4

【ポイント】

- ・地理的条件、道路基盤、公共交通基盤における不便性
- ・病院の点在（人口でなく面積比較で）
- ・1つの病院がなくなることによる地域への影響度合いは多大

2 医師数の状況 … 資料5～8

【ポイント】

- ・島根県全体では増えているが…
- ・地域偏在と診療科別偏在の顕在化
- ・代診医等でカバーはしているが、医師が増えている病院でも…

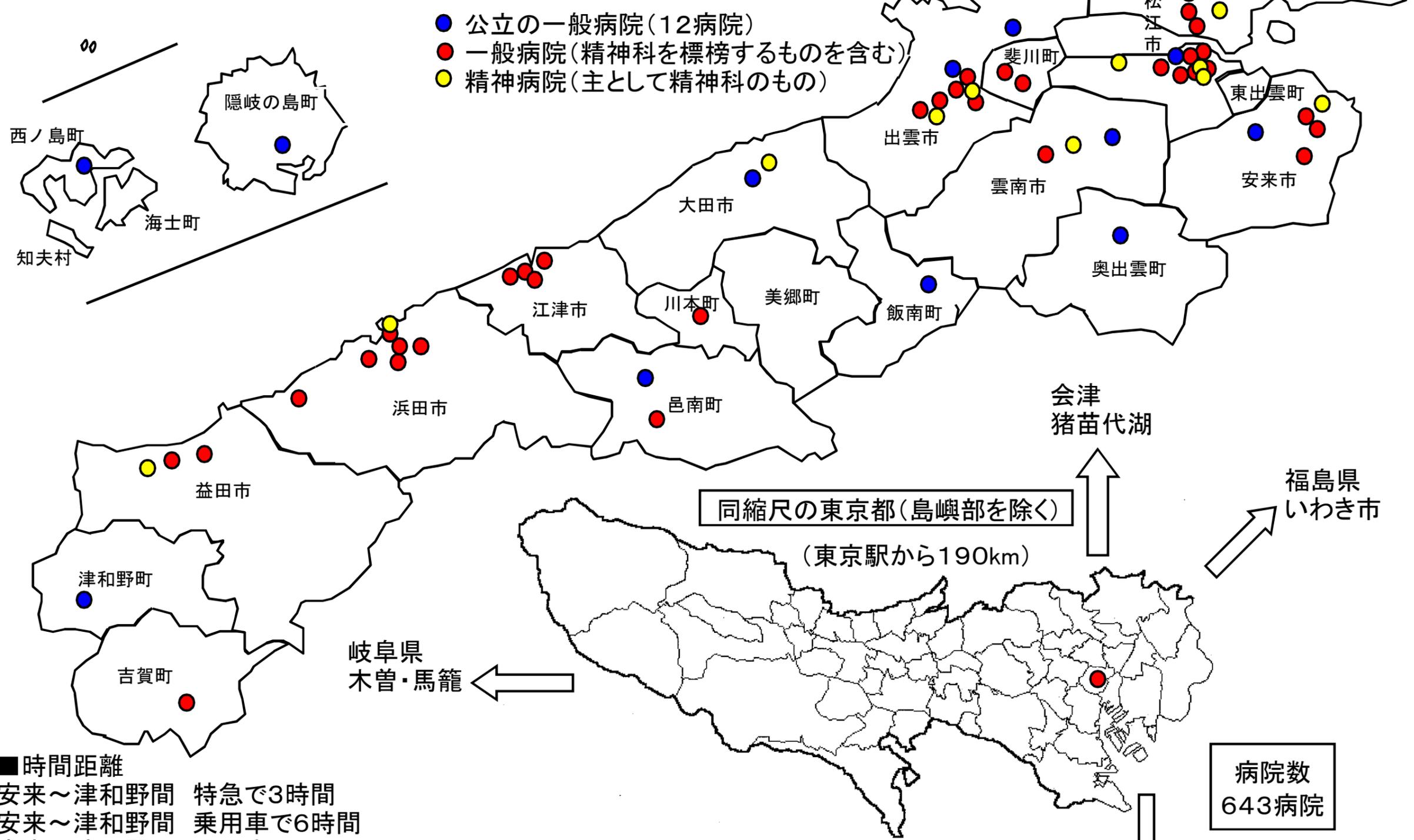
3 公立病院の経営状況 … 資料9～12、参考資料

【ポイント】

- ・医師の増減は病院経営に直結
- ・病院個々の経営改善努力も当然必要だが、根本的に打開するには…
- ・地方公共団体自体の財政状況の悪化等により、基準どおりの繰出しがなされない例も一部に

島根県の病院配置の状況(平成20年4月1日現在)
 病院数 58病院

資料1



- 公立の一般病院(12病院)
- 一般病院(精神科を標榜するものを含む)
- 精神病院(主として精神科のもの)

同縮尺の東京都(島嶼部を除く)
 (東京駅から190km)

病院数
 643病院

■ 時間距離
 安来～津和野間 特急で3時間
 安来～津和野間 乗用車で6時間
 安来～津和野間 乗用車で230km
 島根県:東西約190km

東京都:東西約90km

三宅島の向こう

岐阜県
 木曾・馬籠 ←

福島県
 いわき市 →

会津
 猪苗代湖 ↑

数字で見る島根と東京の医療機関数の状況

～医療施設動態調査(平成20年3月末)より～

(単位:施設、床、人)

	島根県	東京都	全 国	東京都／島根県	備 考
人口(全年齢)	742,223	12,576,601	127,767,994	16.9	単位:人、H17国調
面積	6,707.56	2,186.96	377,914.78	0.3	単位:km ² 、H17国調
医療機関数	807	13,309	108,287	16.5	
病院	59	643	8,832	10.9	
診療所	748	12,666	99,455	16.9	
病床数	12,927	133,757	1,768,153	10.3	
病院	11,991	127,787	1,616,060	10.7	
診療所	936	5,970	152,093	6.4	
医師数	1,826	33,604	263,540	18.4	H18三師調査
病院	1,196	21,165	168,327	17.7	
診療所	630	12,439	95,213	19.7	

人口10万人当たりの状況(全年齢)

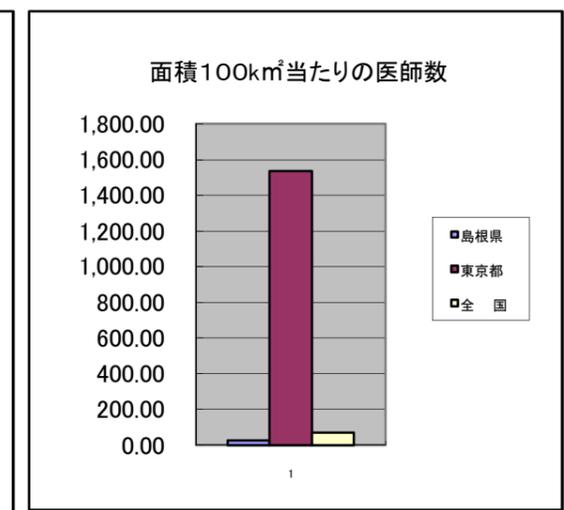
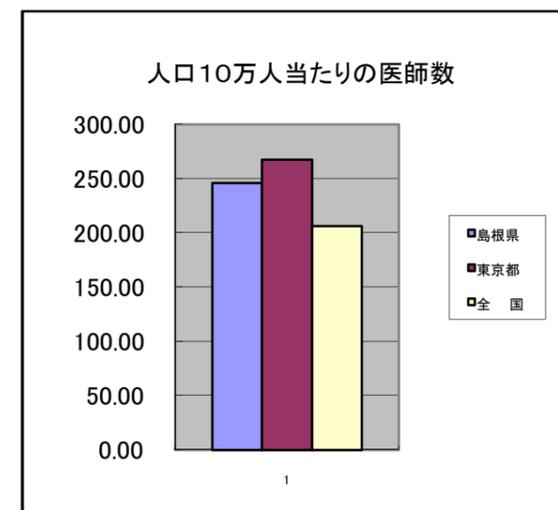
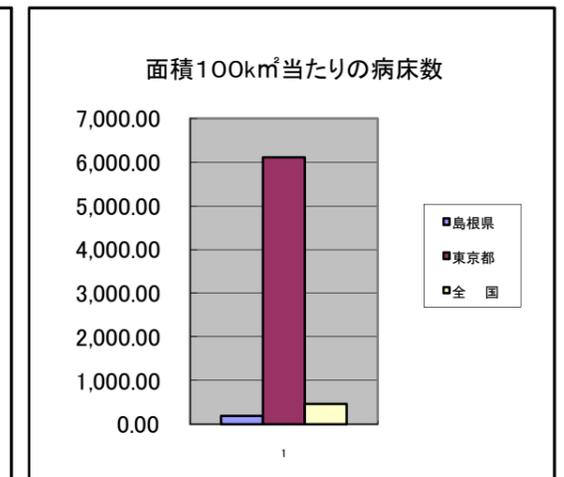
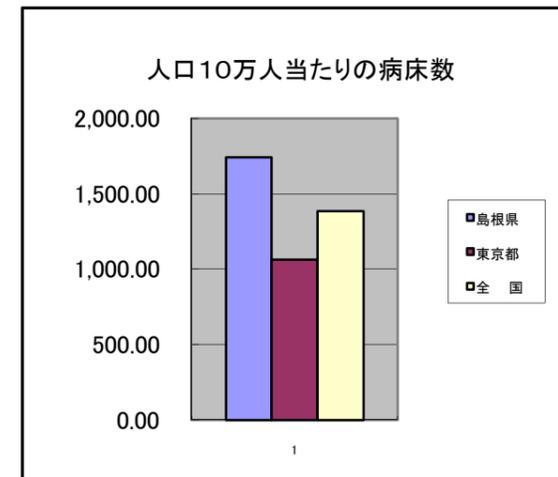
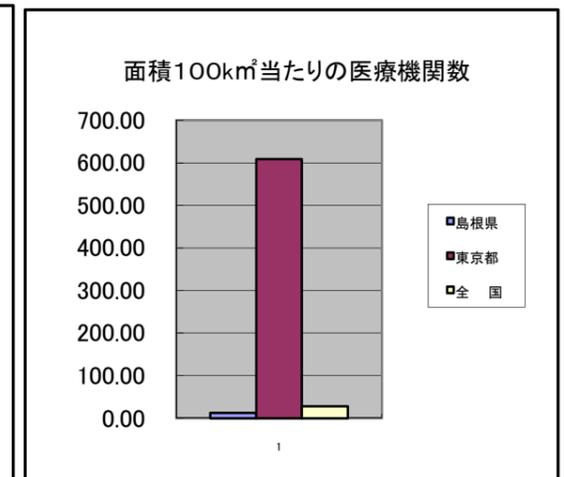
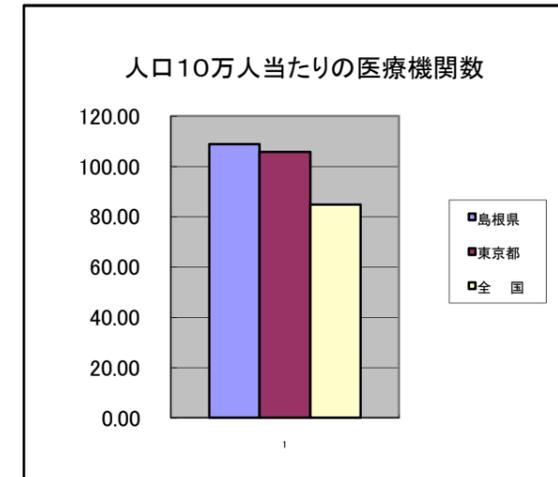
(単位:施設、床、人)

	島根県	東京都	全 国	東京都／島根県	備 考
医療機関数	108.73	105.82	84.75	1.0	
病院	7.95	5.11	6.91	0.6	
診療所	100.78	100.71	77.84	1.0	
病床数	1,741.66	1,063.54	1,383.88	0.6	
病院	1,615.55	1,016.07	1,264.84	0.6	
診療所	126.11	47.47	119.04	0.4	
医師数	246.02	267.19	206.26	1.1	
病院	161.14	168.29	131.74	1.0	
診療所	84.88	98.91	74.52	1.2	

面積100km²当たりの状況

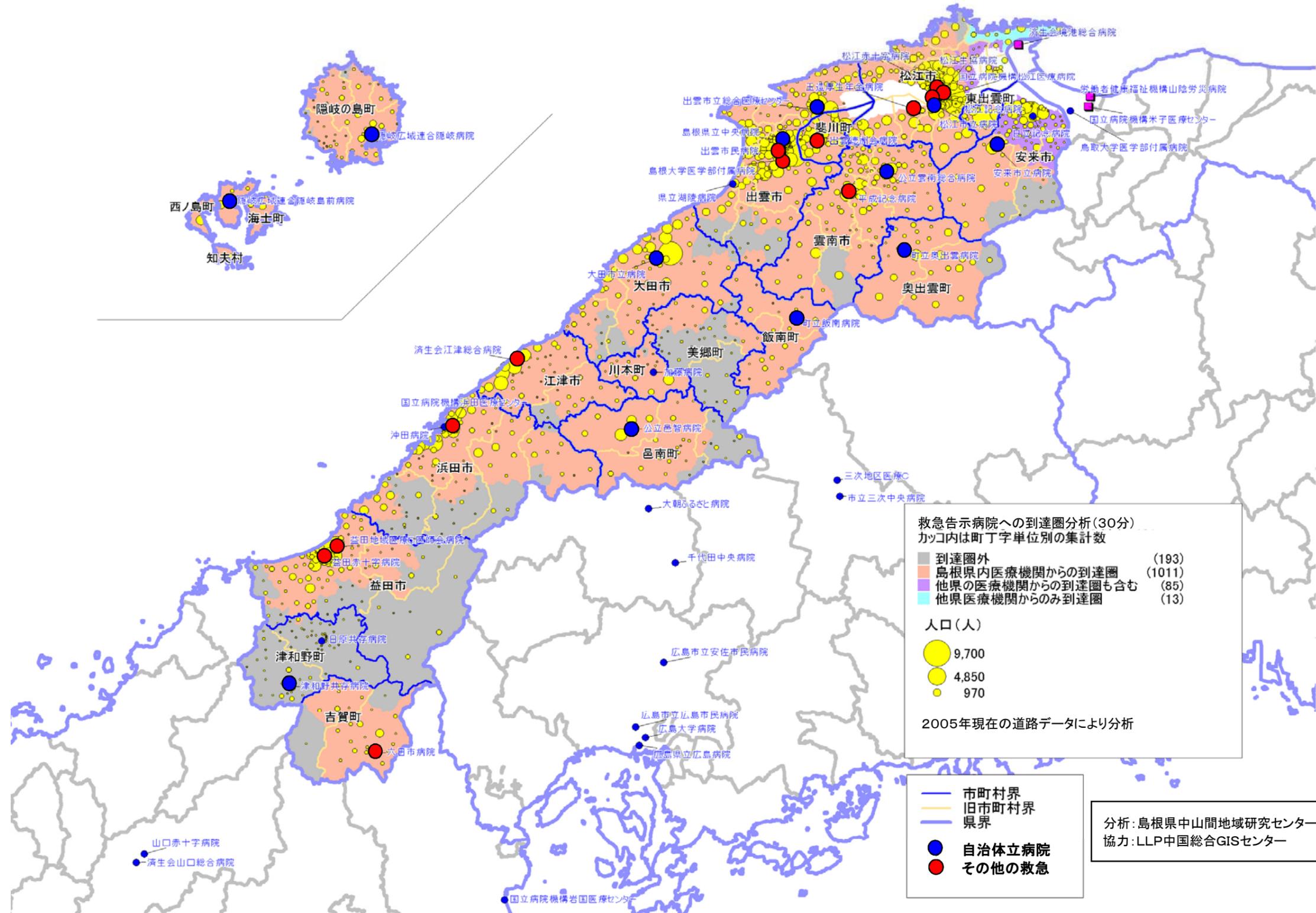
(単位:施設、床、人)

	島根県	東京都	全 国	東京都／島根県	備 考
医療機関数	12.03	608.56	28.65	50.6	
病院	0.88	29.40	2.34	33.4	
診療所	11.15	579.16	26.32	51.9	
病床数	192.72	6,116.12	467.87	31.7	
病院	178.77	5,843.13	427.63	32.7	
診療所	13.95	272.98	40.25	19.6	
医師数	27.22	1,536.56	69.74	56.4	
病院	17.83	967.78	44.54	54.3	
診療所	9.39	568.78	25.19	60.6	



島根県の救急告示病院等の配置及び30分到達圏の状況

資料3



経営形態の見直しの方向性に逆行せざるを得ない地域の実情（例） —津和野町の取組—

経営破綻に陥った病院（石西厚生連経営）を津和野町が買い取って町立病院化

■津和野町

島根県最西端に位置する“山陰の小京都”

住基台帳人口：9,396人（H19.3.31）

標準財政規模：4,701百万円（H18決算）

実質公債費比率：22.4%（H16～H18平均）

■石西厚生農業協同組合連合会（以下「厚生連」という。）

H19 状況：医師不足、診療報酬改定、借入資金の返済負担等から資金繰りが悪化し、金融機関から「破綻懸念先」と格付け

保有施設：津和野共存病院（99床・90人）

日原共存病院（79床・82人）

老健せせらぎ（50床・38人）

出資割合：津和野町（28.8%）・JA（64.6%）・その他（6.6%）

■町立病院化

町が13億円で厚生連から買い取り

<津和野町の判断>

- ・中山間地の過疎地にある病院であり、新たな受け皿確保は極めて困難
- ・近隣に他の医療機関はなく、町の“医療の灯”はなんとかしても確保

■新たな機能

H20 状況：施設規模を見直し、町の関与の強化・病院長の権限強化を図った上で改めて厚生連に指定管理

保有施設：津和野共存病院（99床・86人）

日原共存病院（無床診療所・6人）

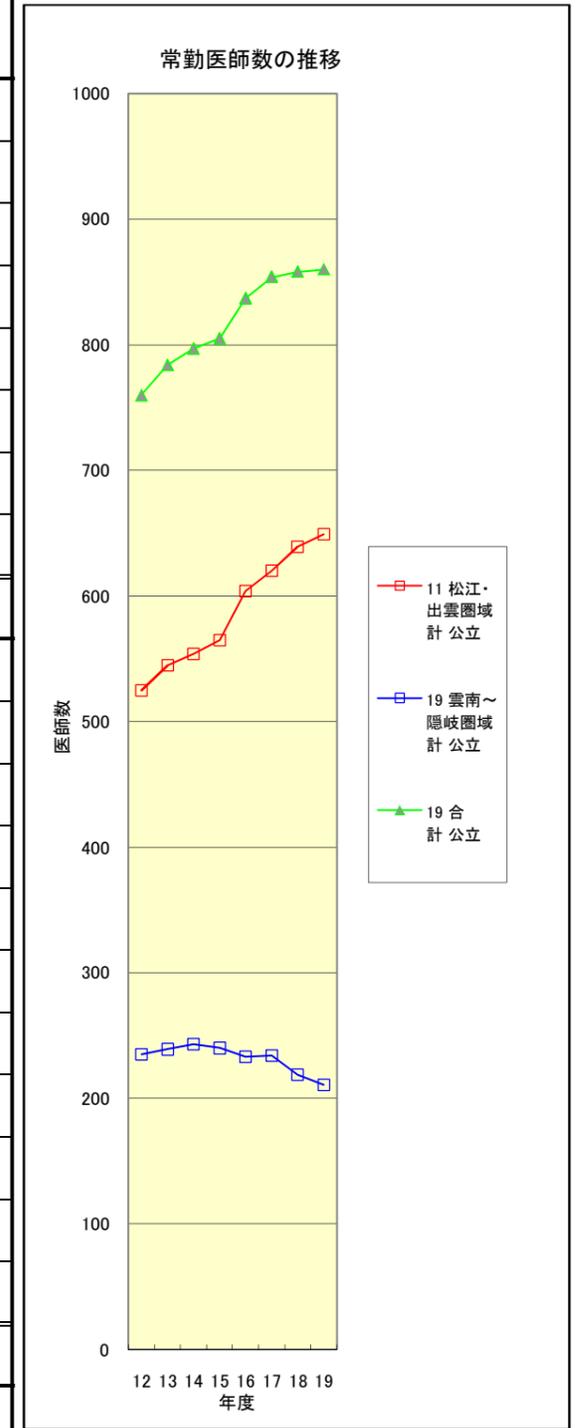
老健せせらぎ（119床・90人）

島根県における公立病院等の常勤医師数の推移 (島根県医療対策課調べ)

H20年7月28日

資料5

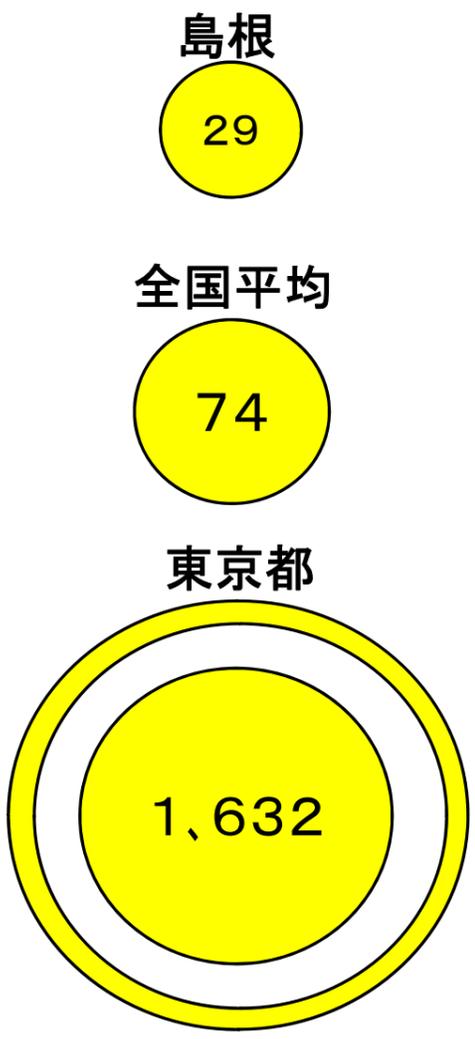
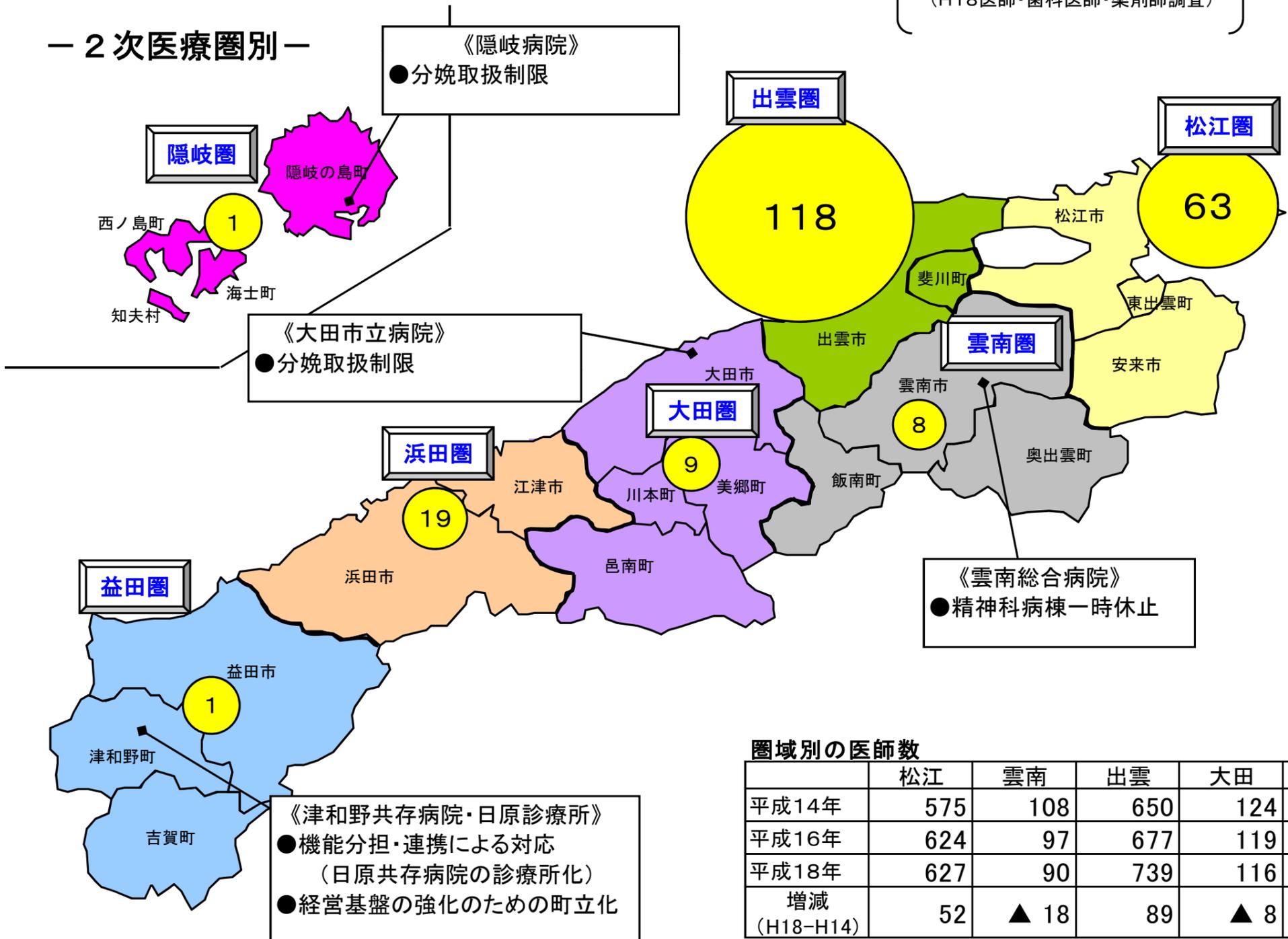
番号	圏域	医療機関名	設置者類型	救急類型	病床数	年 度							比較増減		備 考	
						12	13	14	15	16	17	18	19	⑫→⑲		⑯→⑲
1	松江	○病院	国立病院機構		436	19	19	19	19	19	14	16	15	▲4	▲4	
2		○病院	公立	告示	470	60	61	62	62	63	69	75	77	17	14	
3		○病院	公立	告示	199	20	20	20	19	18	17	18	19	▲1	1	
4		○病院	公的	救命センター	730	108	107	111	112	117	116	111	111	3	▲6	
8	出雲	○病院	国立大学法人	告示	616	176	192	193	197	232	239	253	253	77	21	特定機能病院
9		○病院	公立	救命センター	687	114	118	120	127	130	143	147	150	36	20	
10		○病院	公立		242	9	9	9	8	8	8	7	9	0	1	精神単科病院
11		○病院	公立	告示	259	19	19	20	21	17	14	12	15	▲4	▲2	
		松江・出雲圏域 計			3,639	525	545	554	565	604	620	639	649	124	45	医師一人当たり5.6床
5	雲南	○病院	公立	告示	48	5	5	5	5	4	5	4	4	▲1	0	
6		○病院	公立	告示	334	35	34	35	31	29	26	26	22	▲13	▲7	
7		○病院	公立	告示	158	9	9	10	9	10	10	10	11	2	1	
12	大田	○病院	公立	告示	339	35	34	34	36	37	36	34	34	▲1	▲3	
13		○病院	公立	告示	98	10	10	9	8	8	9	7	8	▲2	0	
14	浜田	○病院	国立病院機構	救命センター	354	35	37	39	41	41	46	41	41	6	0	
15		○病院	公的	告示	300	31	29	30	28	28	25	26	26	▲5	▲2	
16	益田	○病院	公立		99	11	11	12	12	9	11	7	5	▲6	▲4	H18年12月まで告示病院 H20年4月から町立化
17		○病院	公的	告示	327	46	49	48	47	45	45	44	40	▲6	▲5	
18	隠岐	○病院	公立	告示	150	18	17	17	19	18	17	16	16	▲2	▲2	
19		○病院	公立	告示	44	-	4	4	4	4	4	4	4	0	0	
		雲南～隠岐圏域 計			2251	235	239	243	240	233	234	219	211	▲24	▲22	医師一人当たり10.7床
		合 計			5,890	760	784	797	805	837	854	858	860	100	23	医師一人当たり6.8床



資料 6

●島根県の医師数密度(人/100km²)
 ●医師不足による代表的な支障事例

医師数:平成18年12月31日現在
 (H18医師・歯科医師・薬剤師調査)

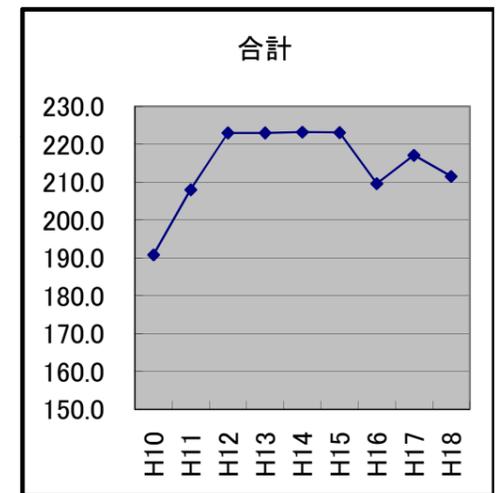
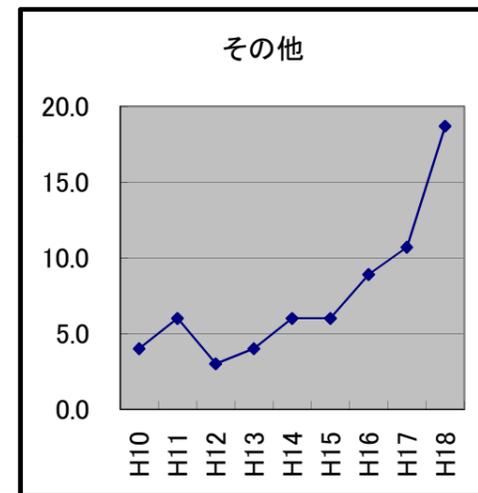
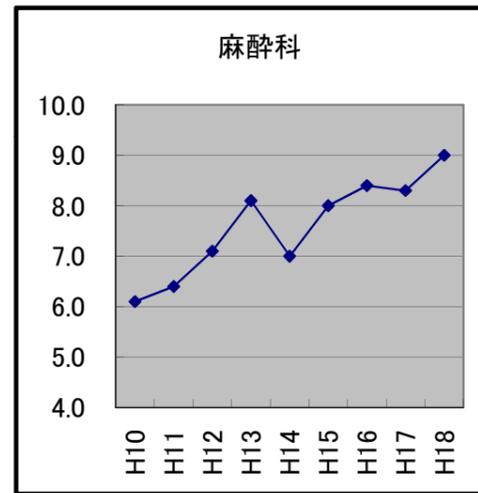
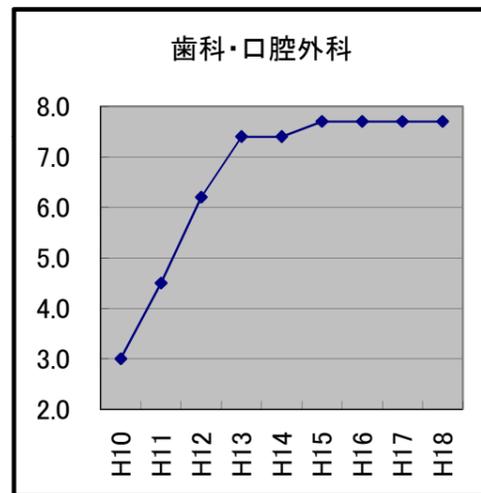
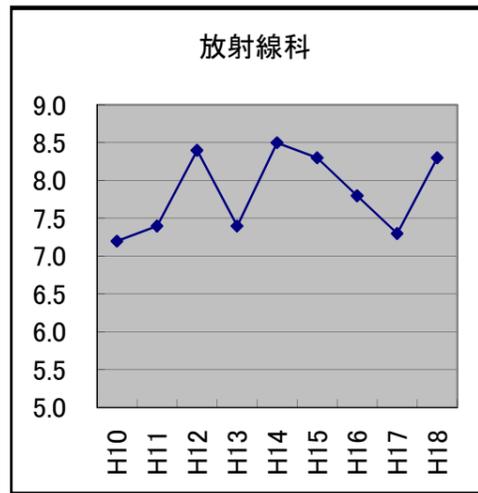
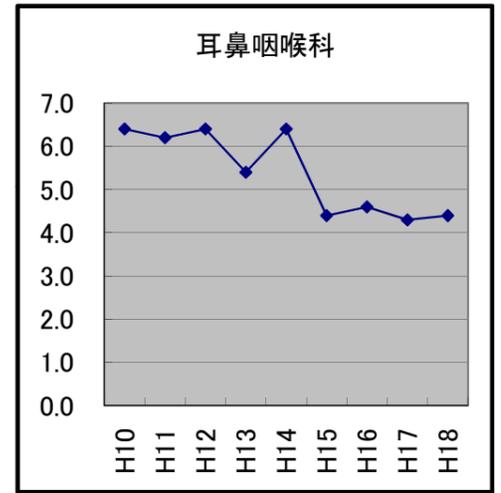
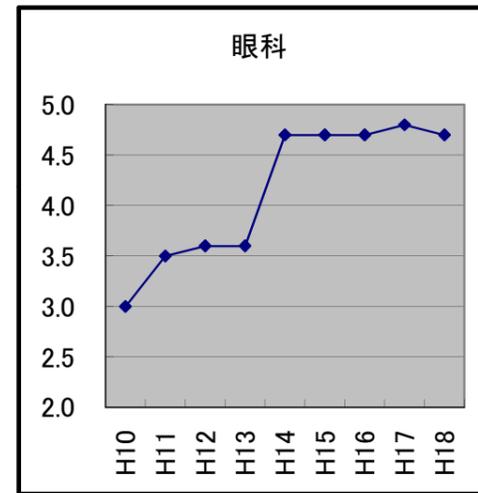
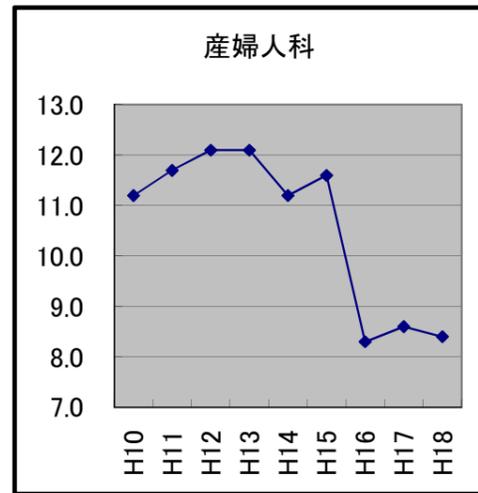
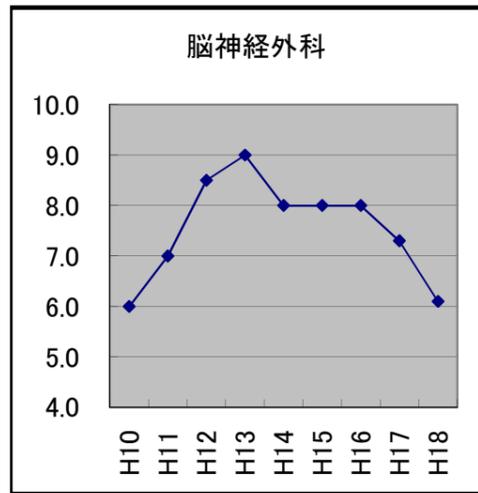
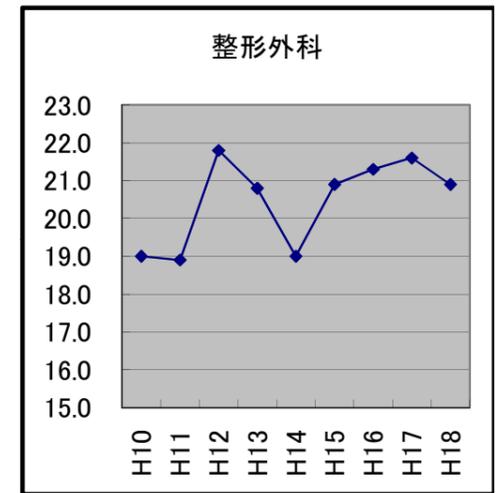
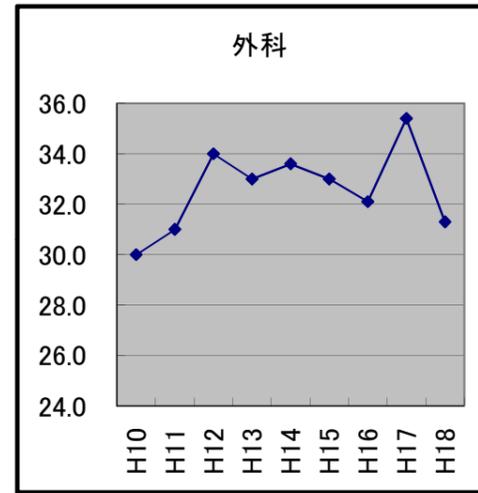
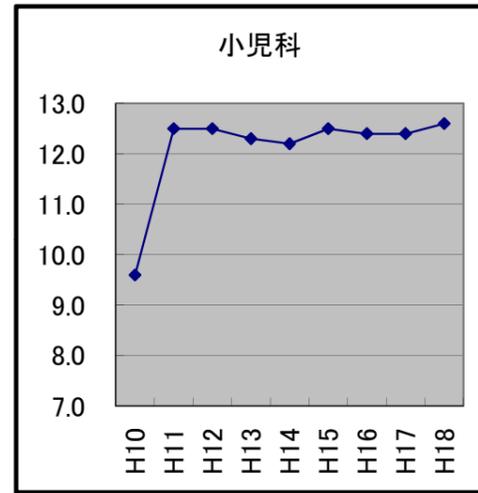
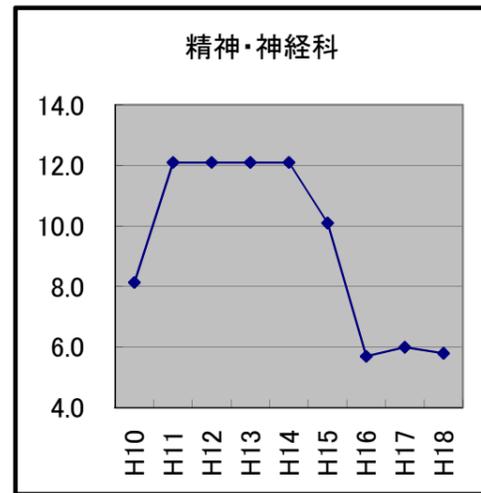
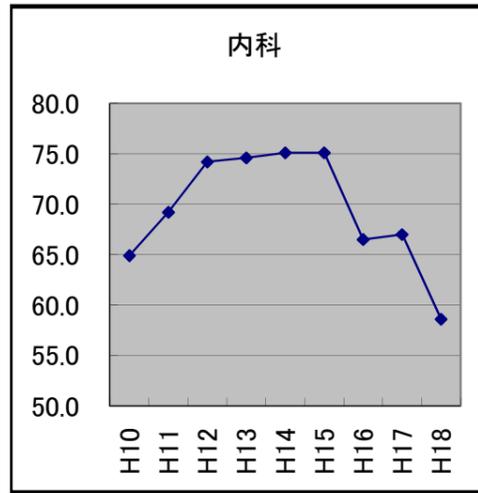


圏域別の医師数

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	計
平成14年	575	108	650	124	193	157	43	1,850
平成16年	624	97	677	119	186	151	41	1,895
平成18年	627	90	739	116	178	151	38	1,939
増減 (H18-H14)	52	▲ 18	89	▲ 8	▲ 15	▲ 6	▲ 5	89

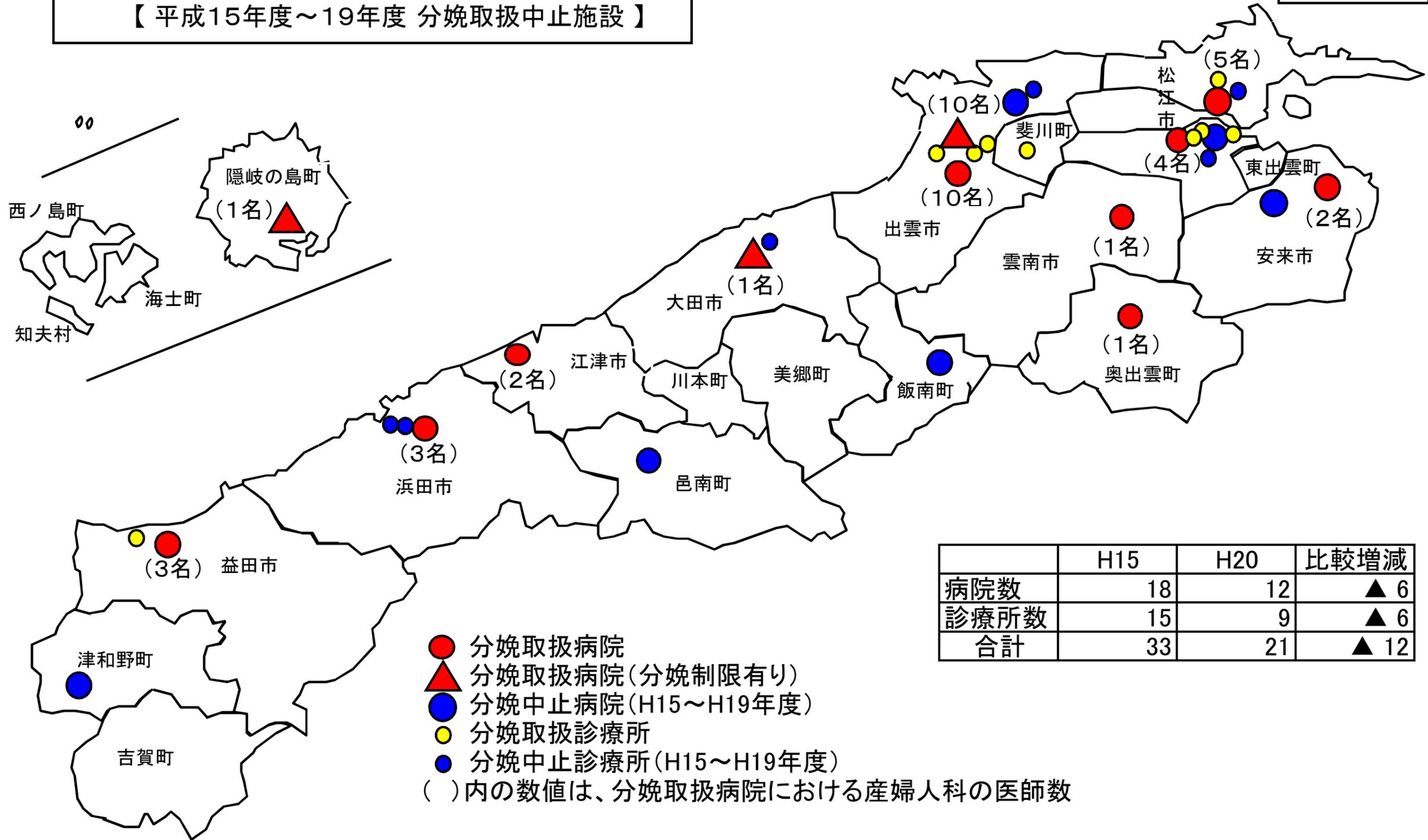
診療科別医師数の推移【公立病院(県立を除く)】

資料7



出典: 地方公営企業決算状況調査

島根県の分娩施設配置の状況(平成20年7月1日現在)
【平成15年度～19年度 分娩取扱中止施設】



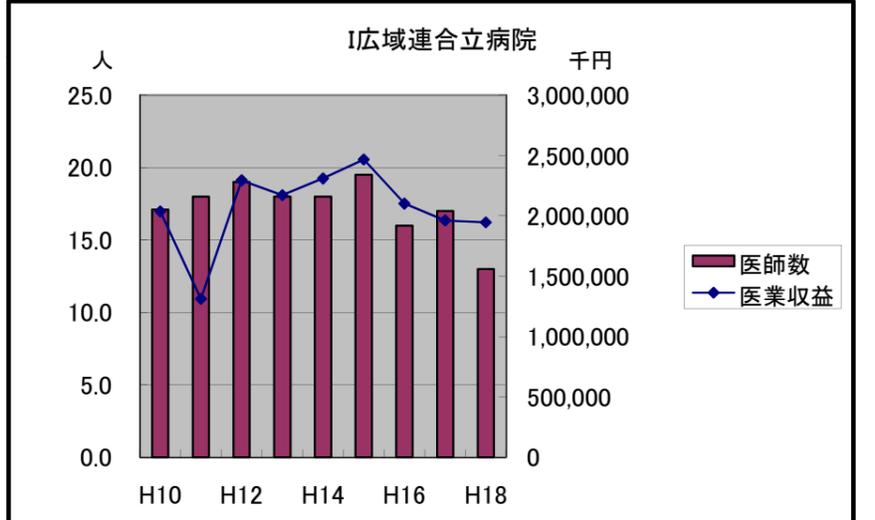
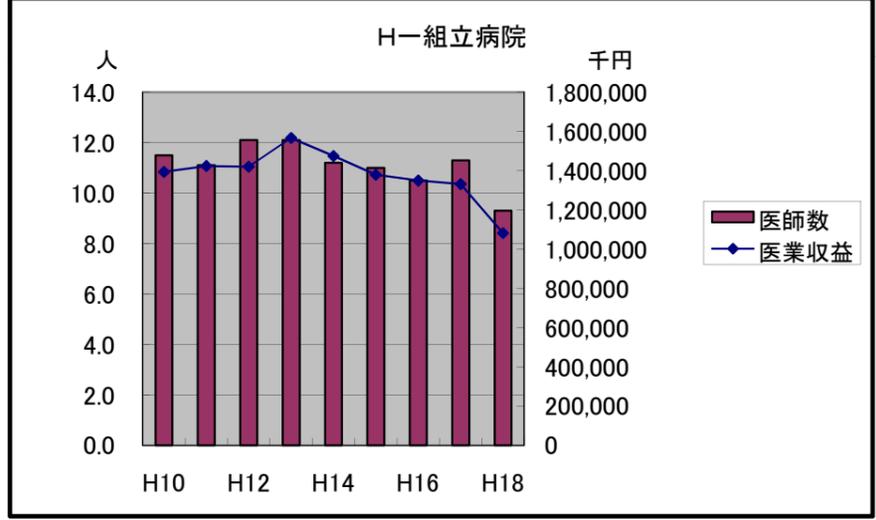
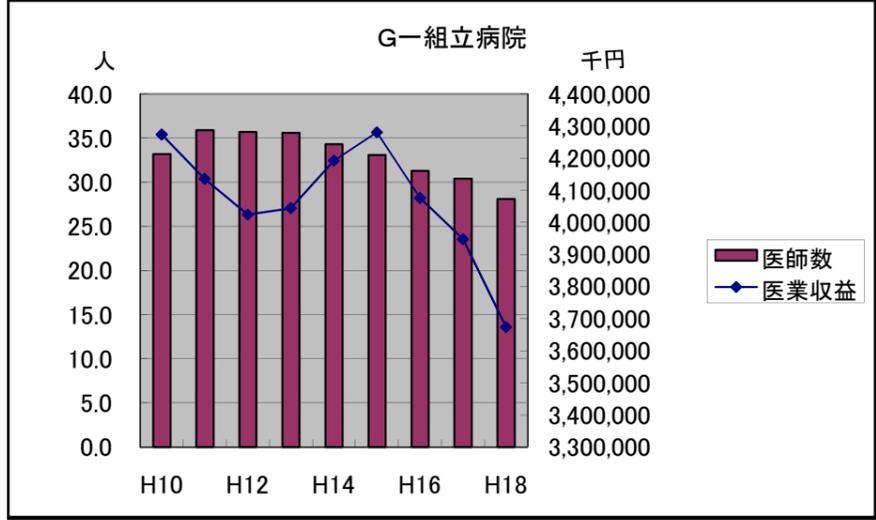
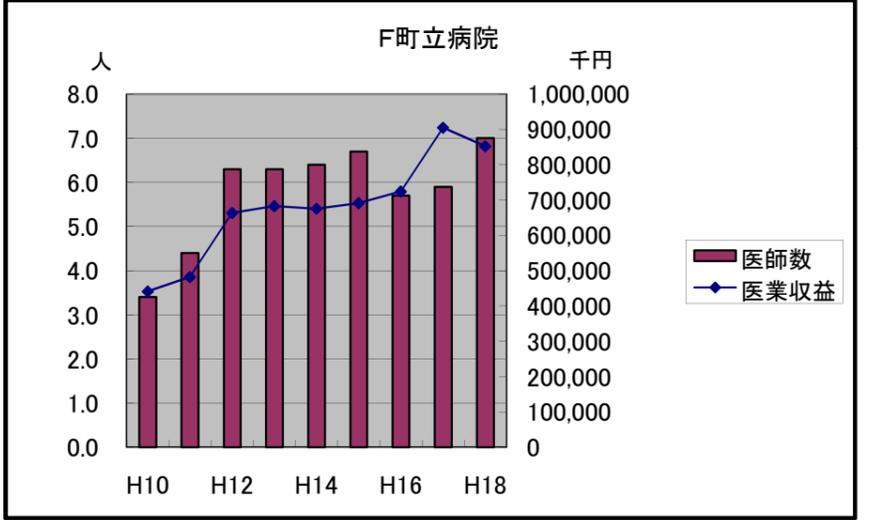
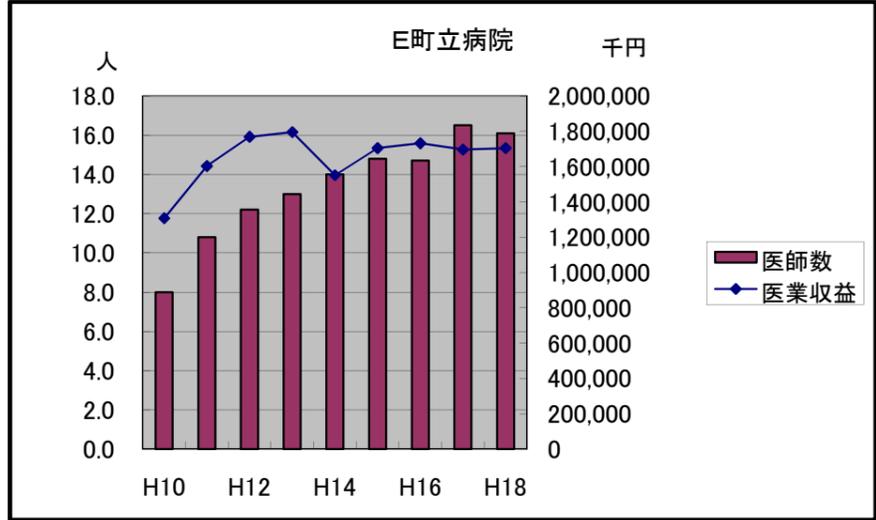
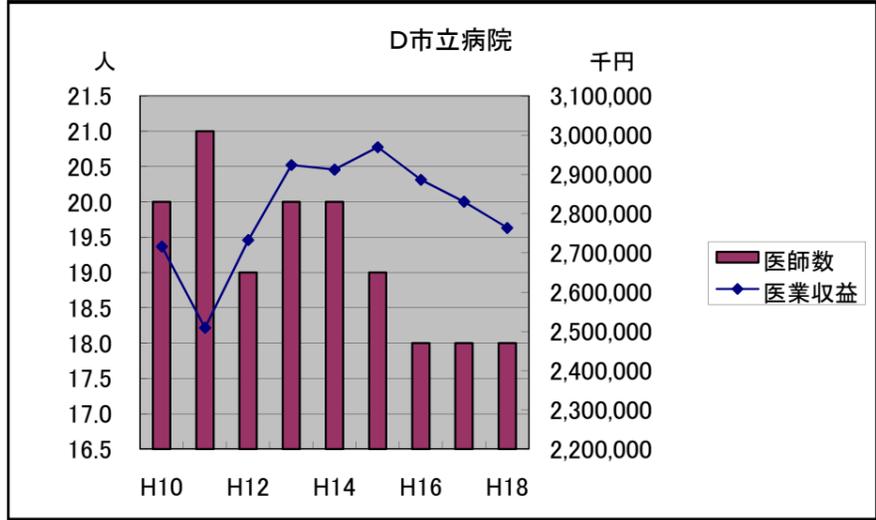
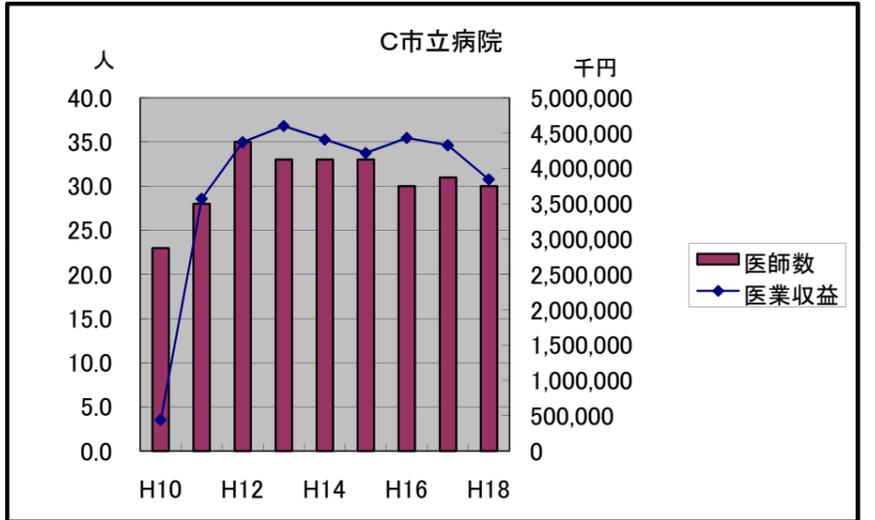
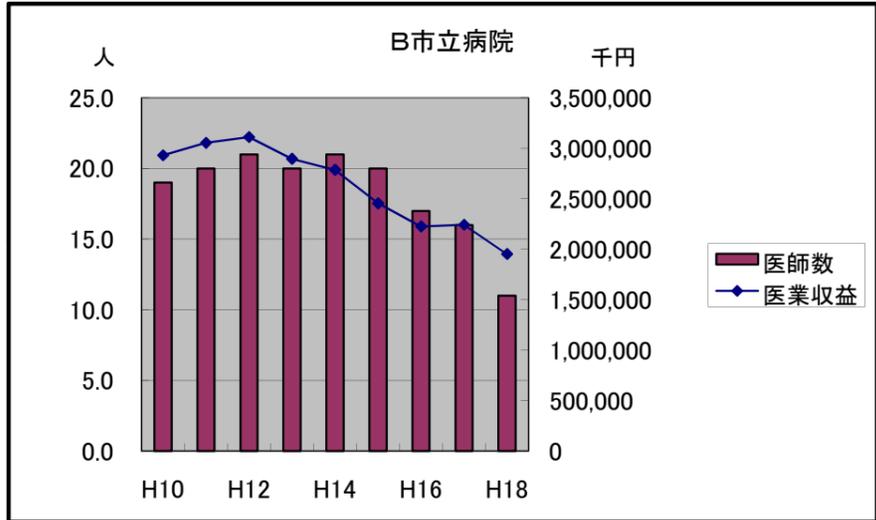
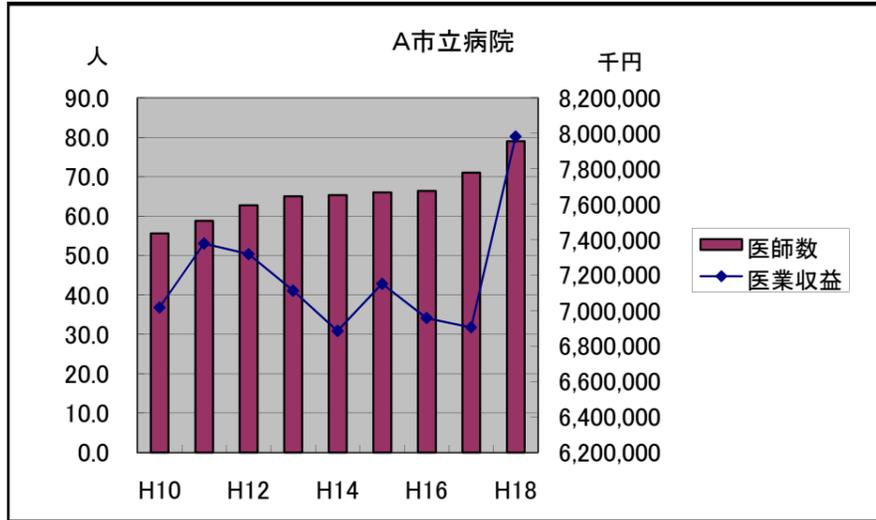
公立病院の現況(H18決算)

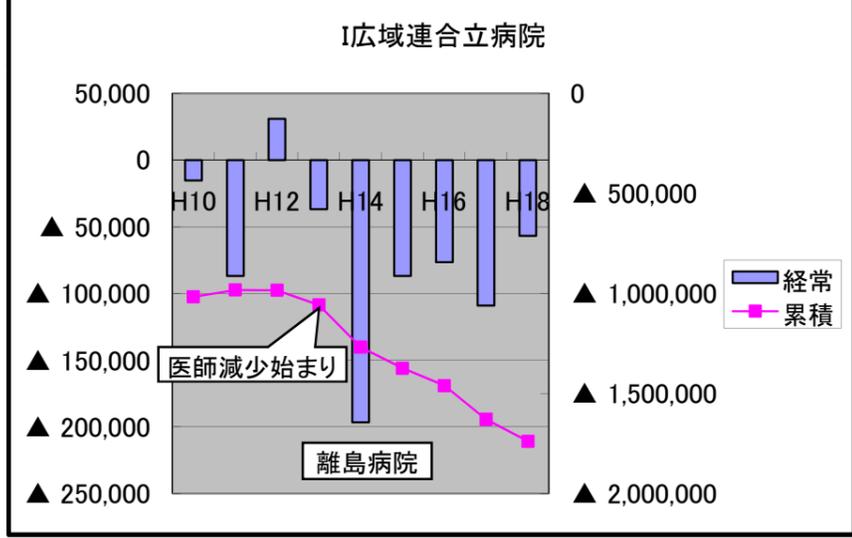
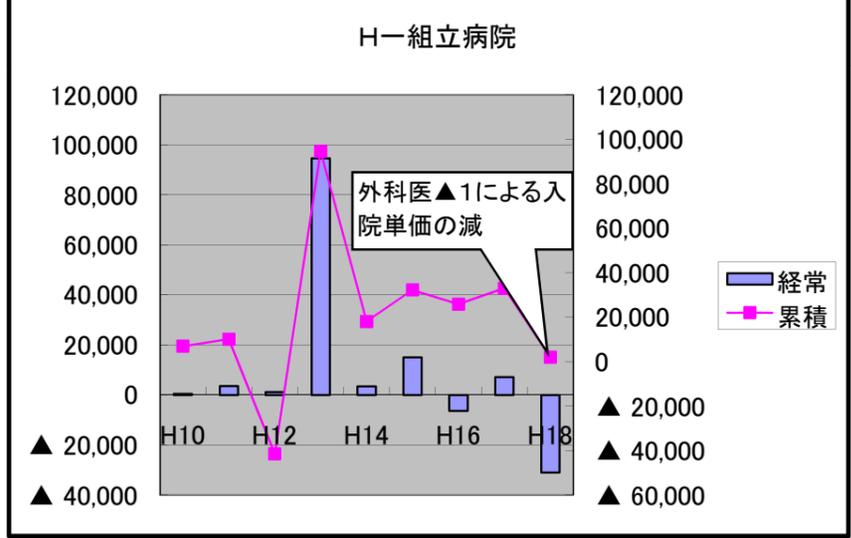
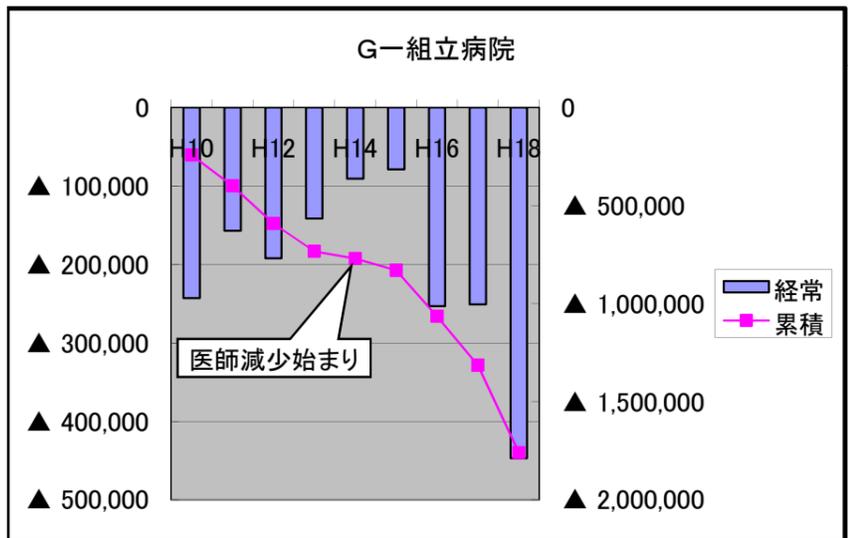
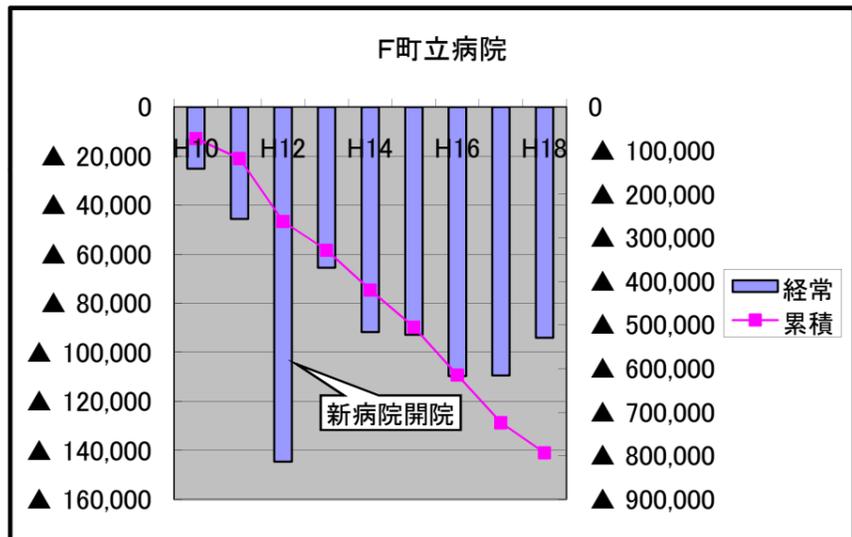
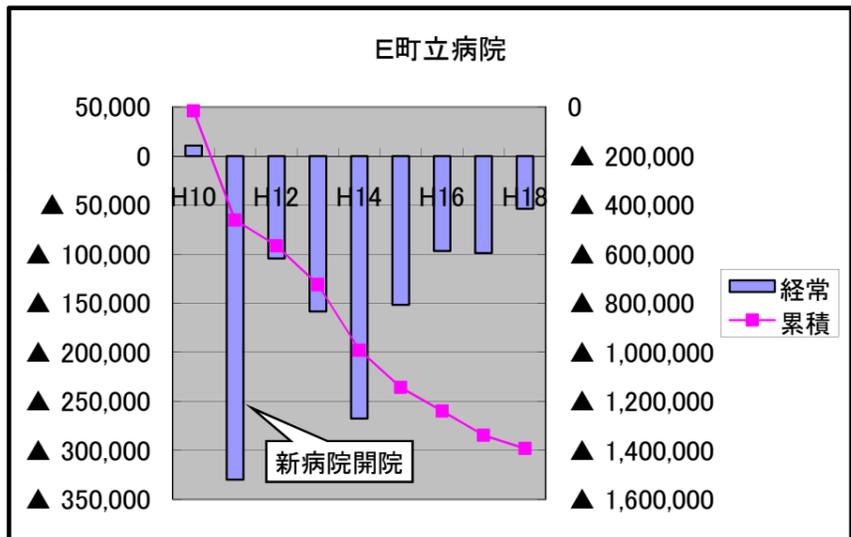
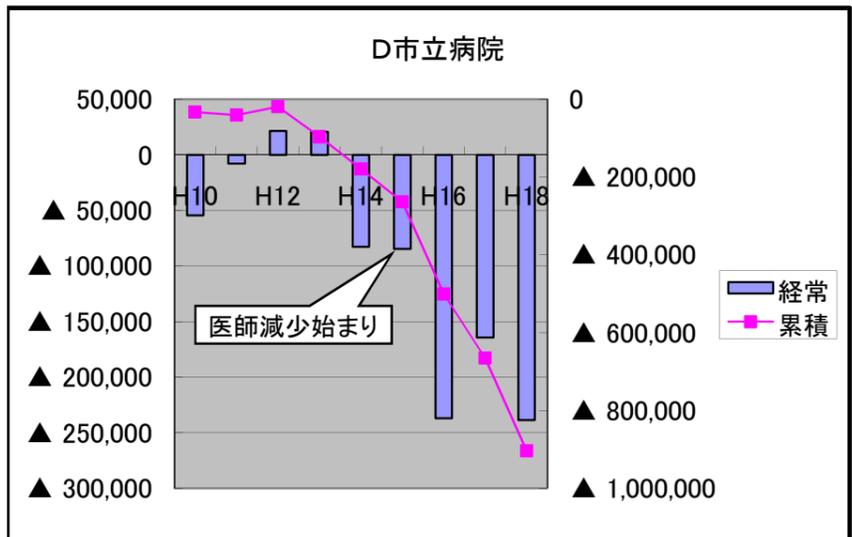
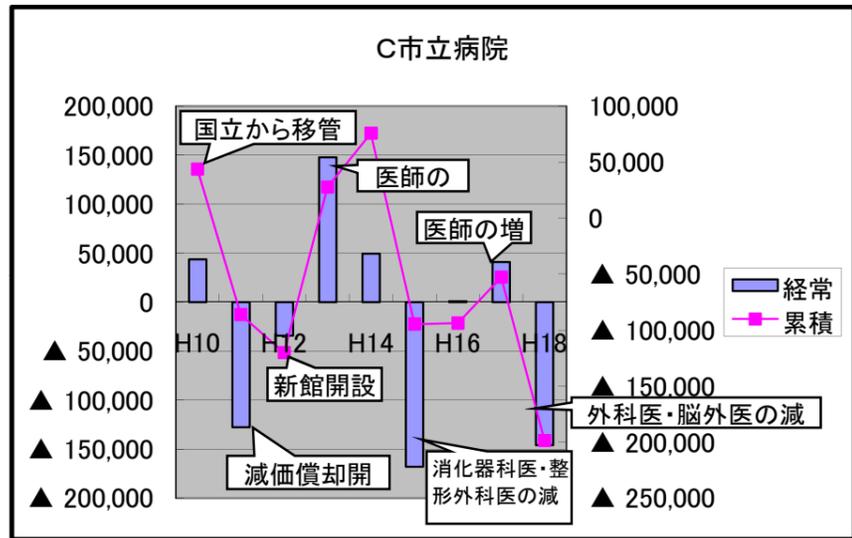
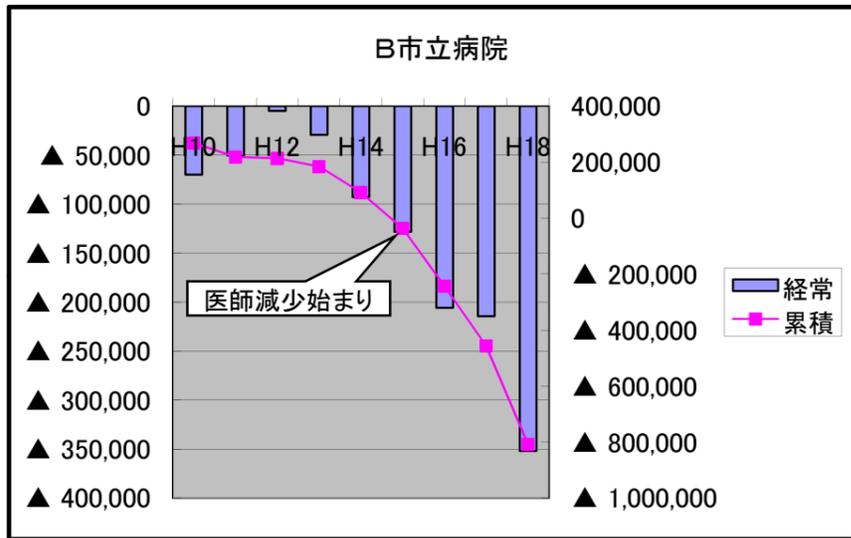
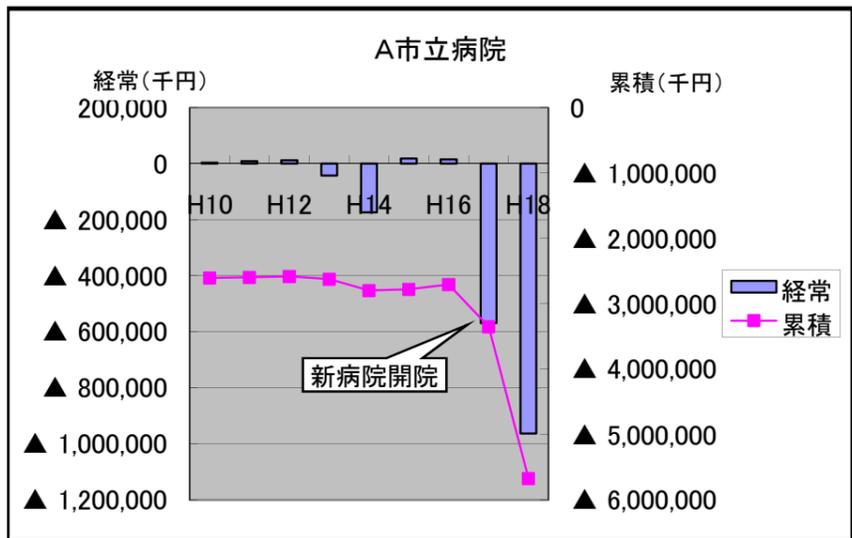
資料9

病院名	法適用	病院区分	診療科数	指定病院	看護配置	病床数					病床利用率	平均在院日数	診療単価		経常損益	累積欠損金	経常収支比率	医業収支比率	累積欠損金比率	
						一般	療養	結核	精神	感染			計	入院						外来
						床	床	床	床	床			床	円						円
県立中央病院	一部	一般	24	救 臨 力 災	10:1	635			40	12	687	88.1	14.9	45,135	10,662	▲503,933	12,406,833	97.0	92.3	89.7
県立湖陵病院	一部	精神	1		15:1				258		258	87.1		13,715	10,426	▲22,255	1,657,237	99.0	64.1	89.7
A市立病院	全部	一般	27	救 臨 力 災 輪	10:1	416			50	4	470	90.6	18.7	35,064	8,245	▲963,328	5,672,973	90.3	87.6	71.1
B市立病院	一部	一般	15	救 臨 ^ 輪	13:1	199	60				259	66.3	21.9	21,041	6,295	▲351,728	808,847	86.9	87.6	41.5
C市立病院	一部	一般	19	救 臨 災 輪	10:1	280	55			4	339	74.8	19.4	28,390	6,536	▲145,830	198,704	96.5	96.6	5.2
D市立病院	全部	一般	12	救 臨 ^ 輪	13:1	169	48				217	90.8	19.3	24,613	9,650	▲238,586	903,789	92.7	90.0	32.7
E町立病院	一部	一般	12	救 輪	10:1	98	60				158	88.0	18.2	22,448	6,080	▲53,593	1,392,863	97.4	90.9	81.8
F町立病院	一部	一般	8	救 ^ 輪	13:1	48					48	68.7	25.5	21,877	9,974	▲94,049	793,343	91.5	79.3	93.0
G一組立病院	一部	一般	14	救 臨 ^ 災 地 輪	10:1	205	78		50	4	337	77.0	21.3	24,223	7,405	▲447,123	1,760,762	89.9	89.6	47.9
H一組立病院	一部	一般	8	救 臨 ^	7:1	98					98	48.4	16.9	26,808	10,248	▲31,039		98.0	75.1	
I広域連合立病院	一部	一般	12	救 ^ 災 輪	10:1	110			38	2	150	72.1	16.0	26,187	6,855	▲56,818	1,738,738	97.6	85.7	68.2
J広域連合立病院	一部	一般	8	救 輪	7:1	20	24				44	88.6	13.7	22,814	10,183	12,490	60,711	101.5	91.0	68.2

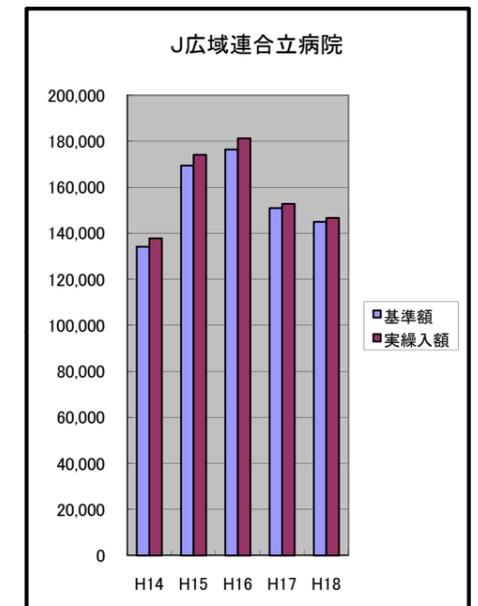
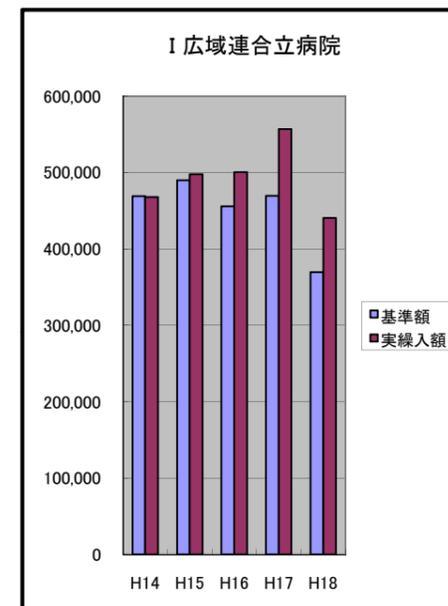
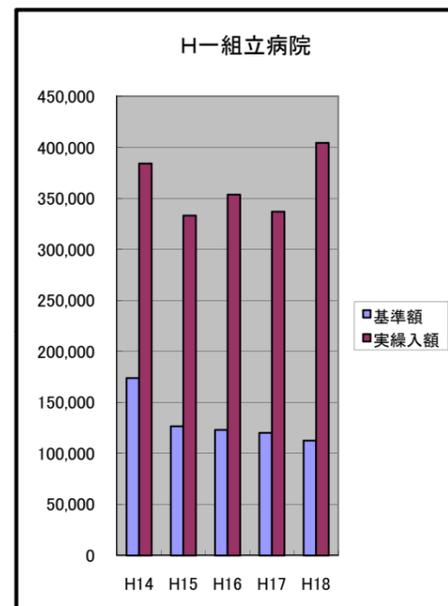
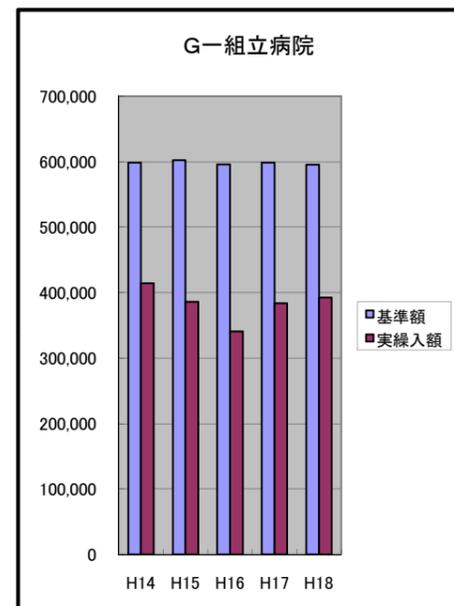
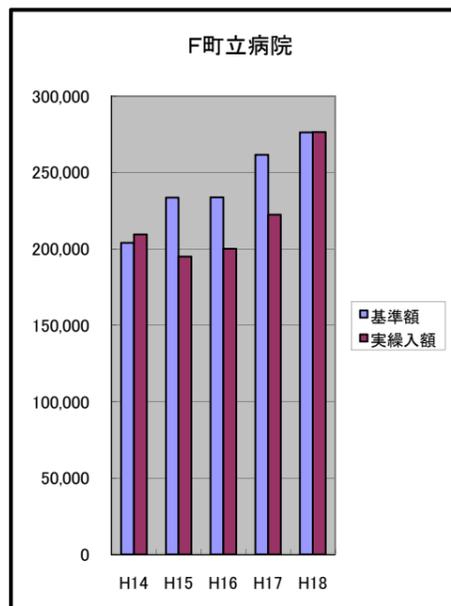
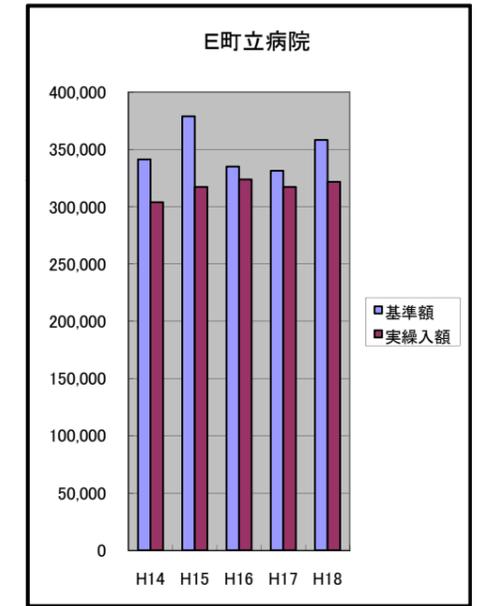
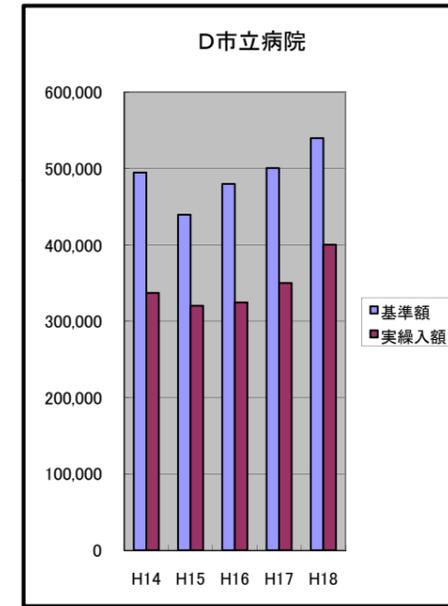
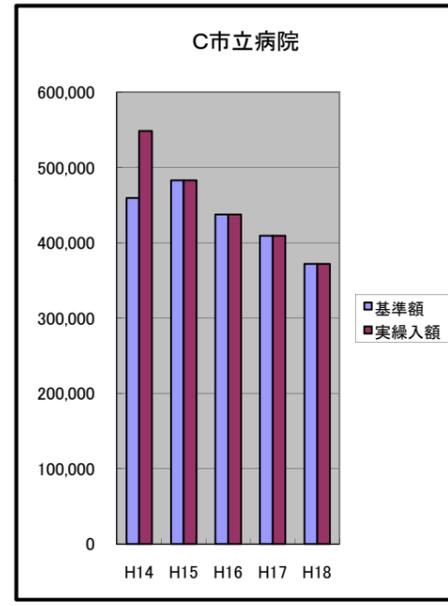
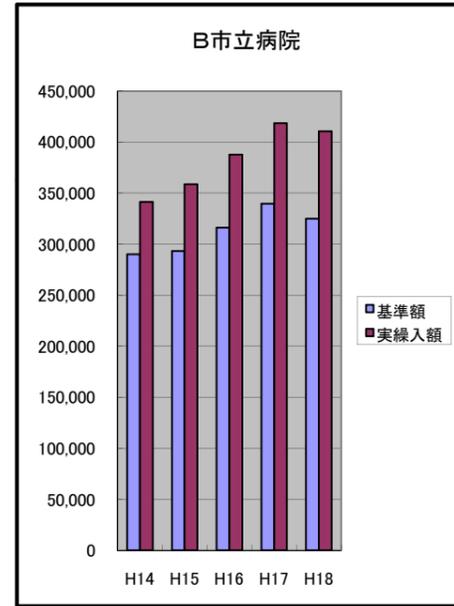
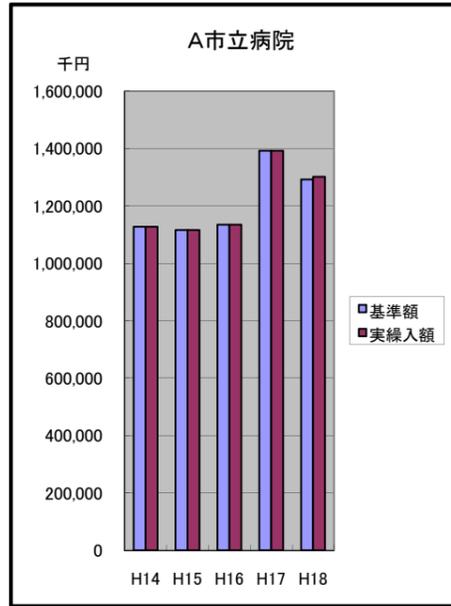
出典:病院事業決算状況(18年度)

医師数と医業収益の推移【公立病院(県立を除く)】



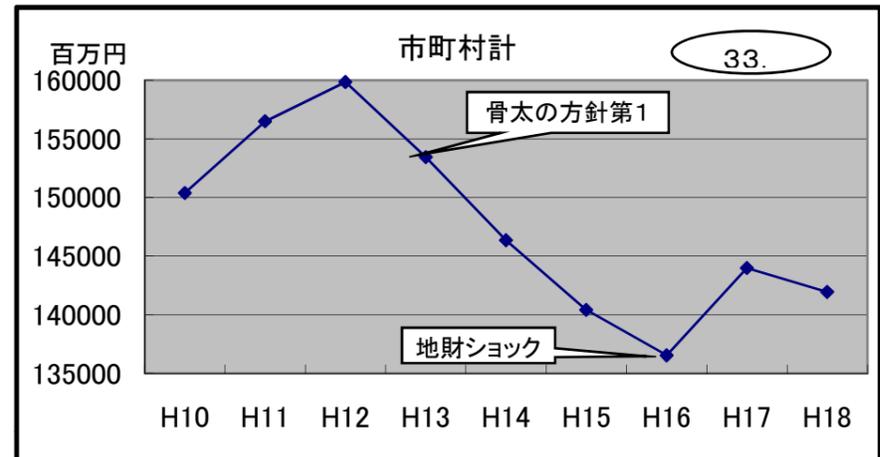
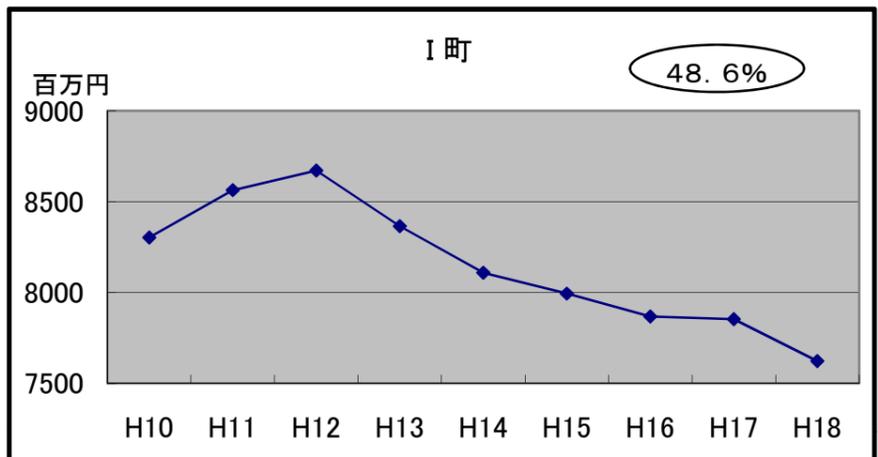
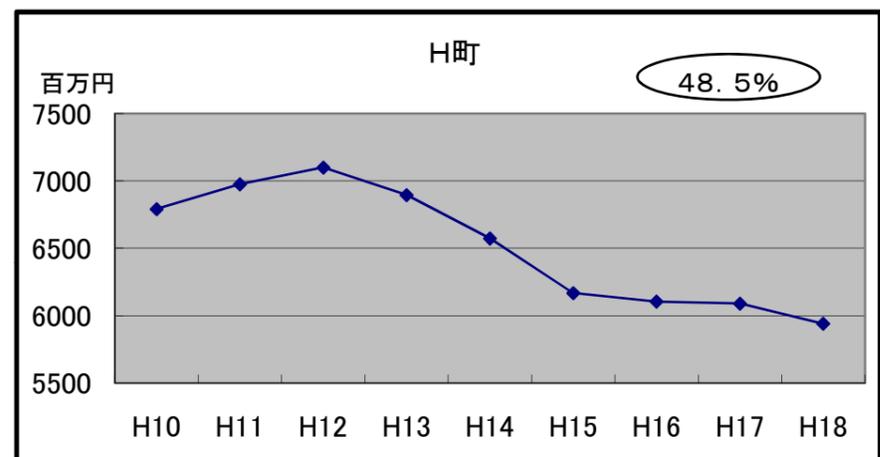
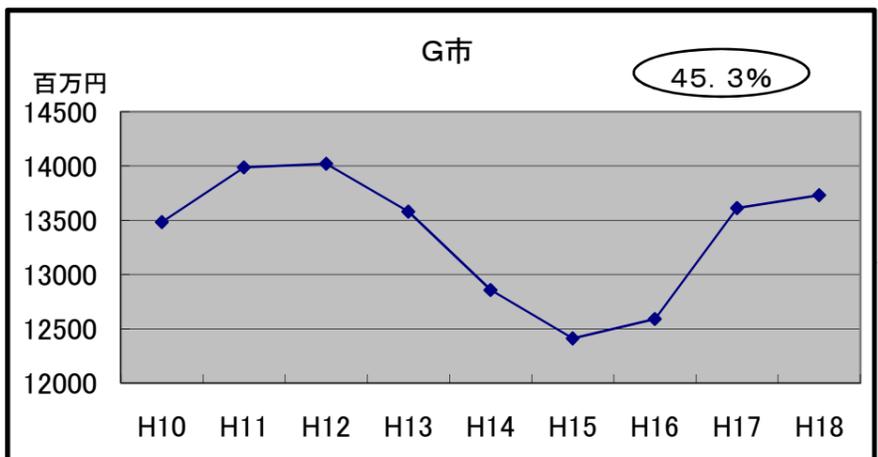
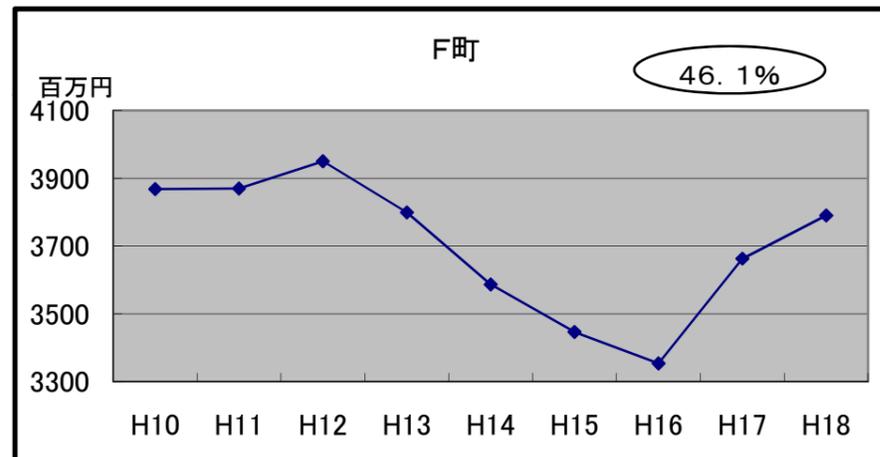
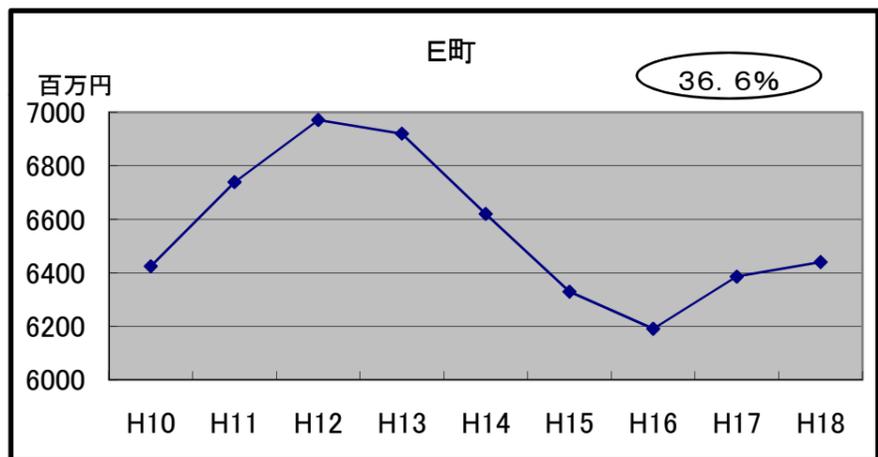
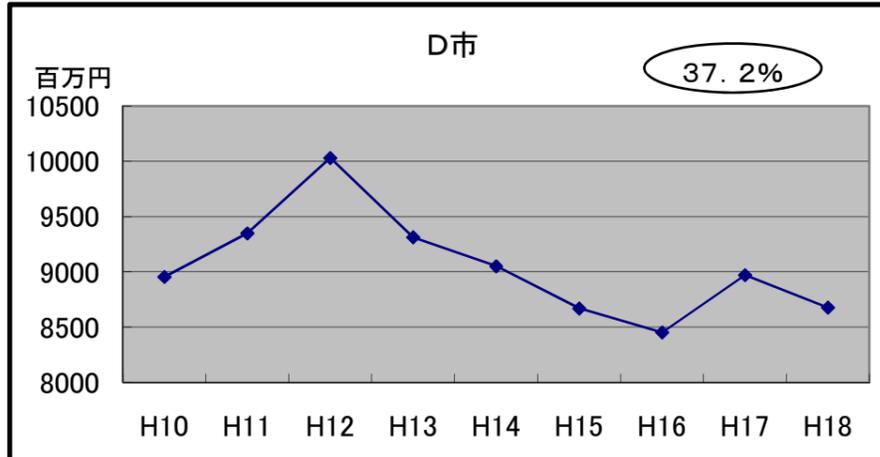
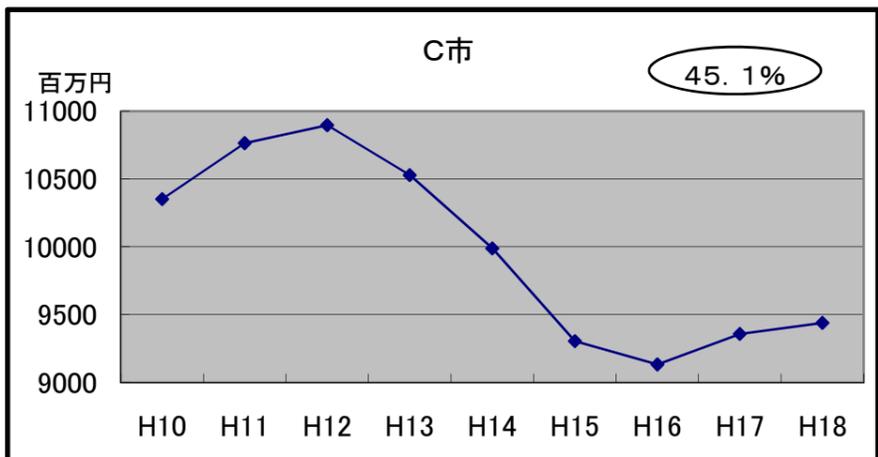
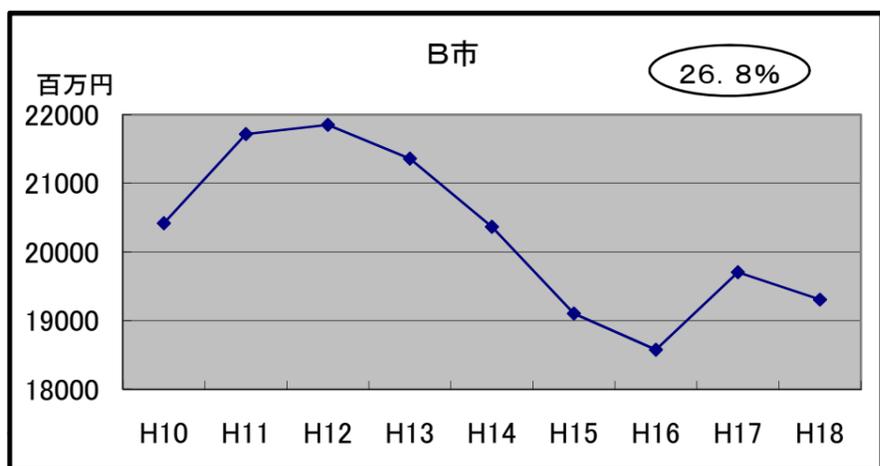
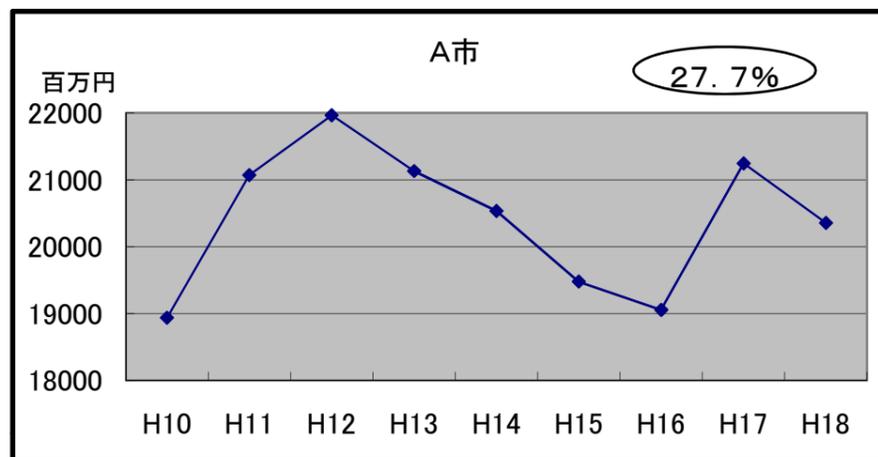


公立病院の繰入金の推移(県立を除く)



地方交付税の推移(病院保有市町・市町村計)

参考資料



注: グラフ左上楕円内の数字(%)は、H18決算歳入総額に占める地方交付税額の割合

出典: 地方財政状況調査

財政措置のあり方等について

- 不採算地区病院など過疎地等における病院及び診療所に係る地域医療確保のために必要な財政措置について

- ・適正に繰入れがされるよう国からの財政措置の充実が必要

不採算地区病院など過疎地域の病院は一般行政的病院であるが、必要額の繰入れがされない結果、赤字となっている病院が多数あり、繰入金に適正に繰出されるよう国からの財政措置の充実が必要。

- 一般会計との負担区分について

- ・公立病院の役割と一般会計繰入金の意義についての理解

一般会計からの繰入不足により赤字が生じているという声も聞くところであり、国に負担区分に基づく適正な繰入れがされるようルール作り等の積極的指導が必要。

一般会計部局において、病院が黒字であれば繰入れを減額する、あるいは財政状況が厳しいことで減額するといった考えは、病院職員の経営意識、勤労意欲の低下につながる。

- 医師確保に対する財政措置

- ・産科・小児科・救急等に限らず、医師を確保できるかというのが問題

特に、産科・小児科・救急医療については財政措置の拡充が必要

医師確保のためには、定員削減や給与面での処遇を制約外にすることが必要。

医師確保対策として、地元開業医の活用など一般会計に対する包括的な財政措置はあるが、病院自身が医師確保に要する人的経費等に対する直接的な財政措置とそれが病院に確実に措置される仕組みが必要。

また、地域の中核病院としての役割から、産科・小児科・救急医療などの運営に対する財政措置の充実が必要。

- 病院建物の建築単価について

- ・自治体病院は地域住民にとって、安全・安心の拠点施設である必要

一定の上限は必要であるが、公立病院は民間病院などと異なり、品質の確保などに関する種々の法令や災害時の拠点施設としての役割などがあり、機能、構造的にもその考慮が必要。

- 病床数への病床利用率の反映について

病床利用率→経営成績→その反映→交付税の減額という構造では理解が得られない。

病床利用率については、過疎地域など地域特性や病院の規模、また年度間の変動要素もあるため、そうした点の考慮も必要。